

学校教育目標を 地域とともに

小野江小学校 学校運営協議会

主体・協働・追究

～小野江の「つよく やさしく
ひろい心」が育ち合う～





学校教育目標と熟議

学校が核となった地域づくり

子どものこと、学校のことを
大切に考えてくれる方と
対等な立場で、
めざす子ども像の実現に向けて、
より広く進めていくことが
できる機会

小野江小学校 熟議

～ 3 年間のあゆみ

令和4年度

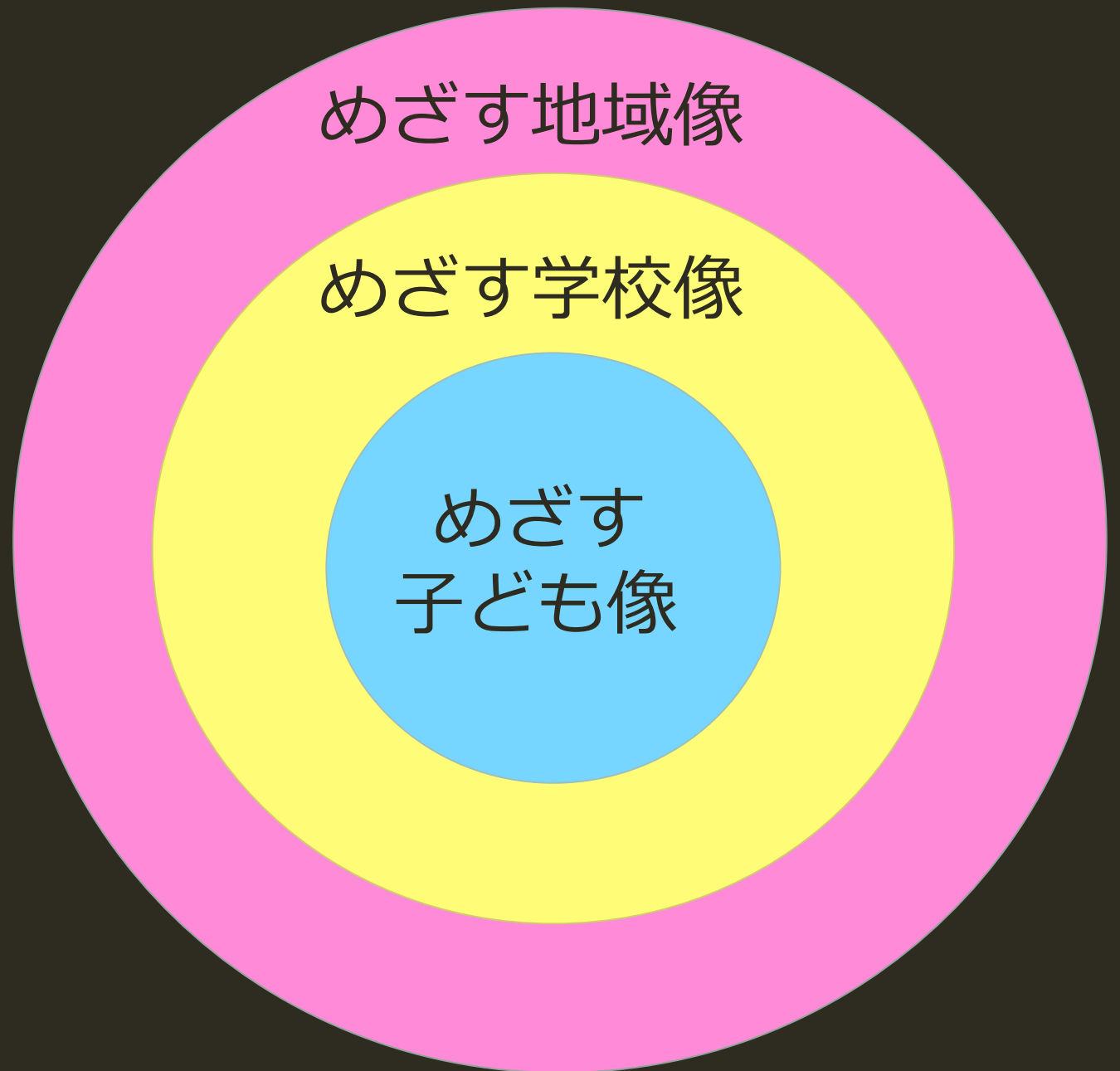
「小野江の子どもたちの目指す姿とは？」

令和5年度

「小野江小が目指す学校の姿とは？」

令和6年度

「小野江の人々が目指す地域の姿とは？」



令和4年7月22日
熟議を活用した
意見交換会

小野江の
子どもたちの目指す
姿とは？

参加者
保護者
地域住民
教職員



令和5年度 8月2日
熟議を活用した
意見交換会

小野江小学校が目指す
学校の姿
とは？

参加者
保護者
地域住民
教職員



令和6年度 7月18日
熟議を活用した
意見交換会

小野江の人々が目指す
地域の姿とは？

参加者

小野江小児童

保護者

地域住民

教職員



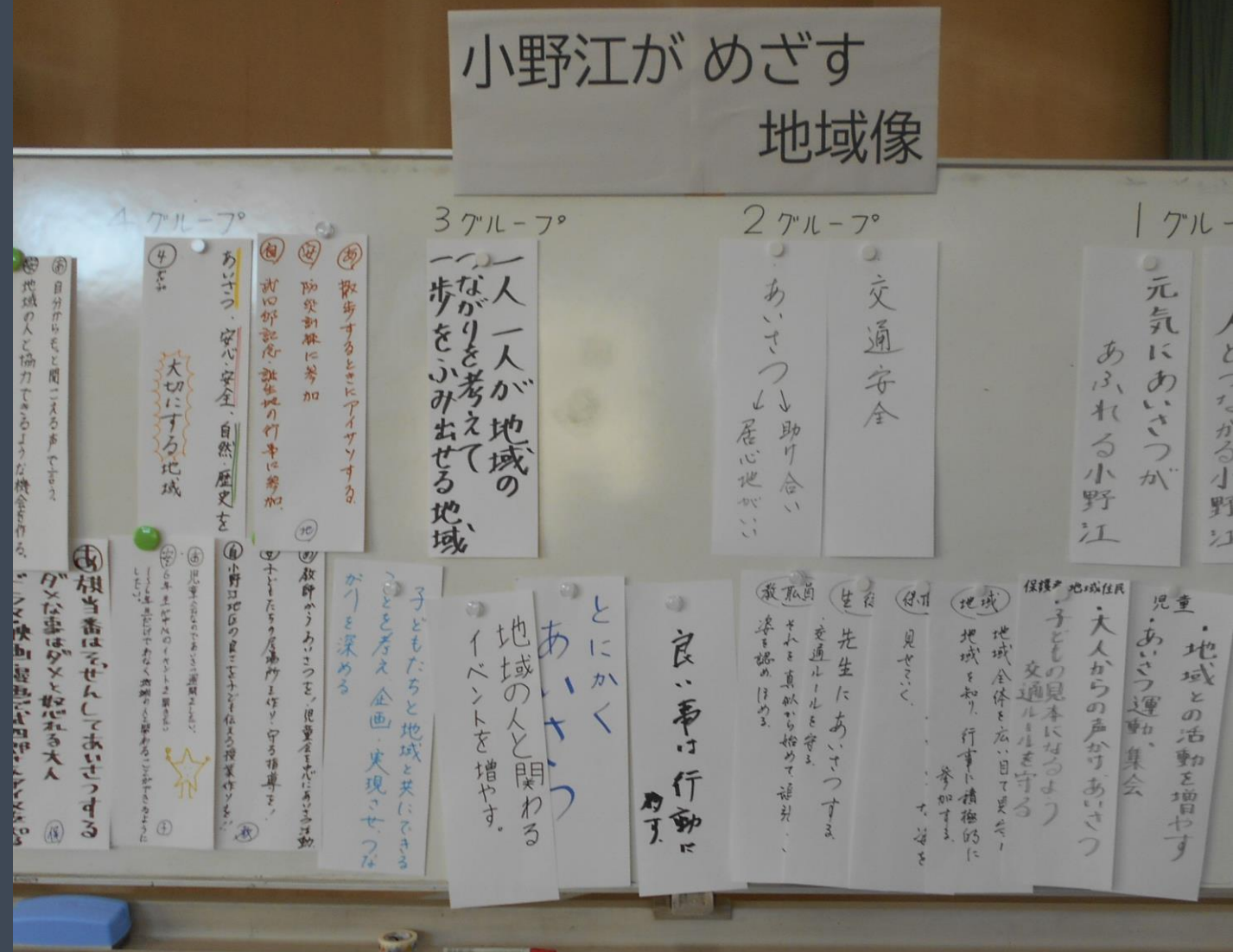




グループ別の短冊の発表による全体での共有

小野江がめざす 地域像

「安全・安心な地域」
「元気なあいさつが
あふれる地域」
「自然・歴史を大切
にする地域」



子ども・保護者・地域住民・教職員 それぞれの立場でできることは？

地域住民の立場から
「散歩のときにあいさつをする」

保護者の立場から
「手本となる姿を見せる」

教職員の立場から
「地域の良さを伝える授業づくりをする」

子ども・保護者・地域住民・教職員
それぞれの立場でできることは？

子どもたちから

「あいさつ運動をしたり、あいさつ集会を開く」
「児童会なので、あいさつ運動をしたい」
「地域の人と関わるようにイベントをしたい」

熟議を意識した 小野江小学校の姿



熟議の後子どもたちの変化

①熟議で話し合ったことを行動に表していく

目ざす地域像
元気なあいさつがあふれる地域



児童会の目標
学校をよくしていくために何ができるのか？

半年前の姿

5月上旬に実施されたウォークラリーの縦割り班で
行動する場面で、安全支援に入った地域の人に・・・

どうしたら、
5年生が協力して
くれるのかな？



下級生をどうやって
引っ張っていけば
良いか分からない
んです・・・





児童会が中心に、継続して行われるあいさつ運動の様子

熟議の後の子どもたちの変化

②探究活動の進化

**子どもたちが自ら課題を
解決していこうとする姿**

自ら興味関心をもったことに
自分たちで向かい合おうとする姿



課題解決型学習に向きあう姿

目指す地域像「自然・歴史を大切にする地域」

地域の偉人である武四郎さんに更に興味を持つ児童が
自ら疑問や課題見つけ、
そこに向けて取り組んでいく姿勢

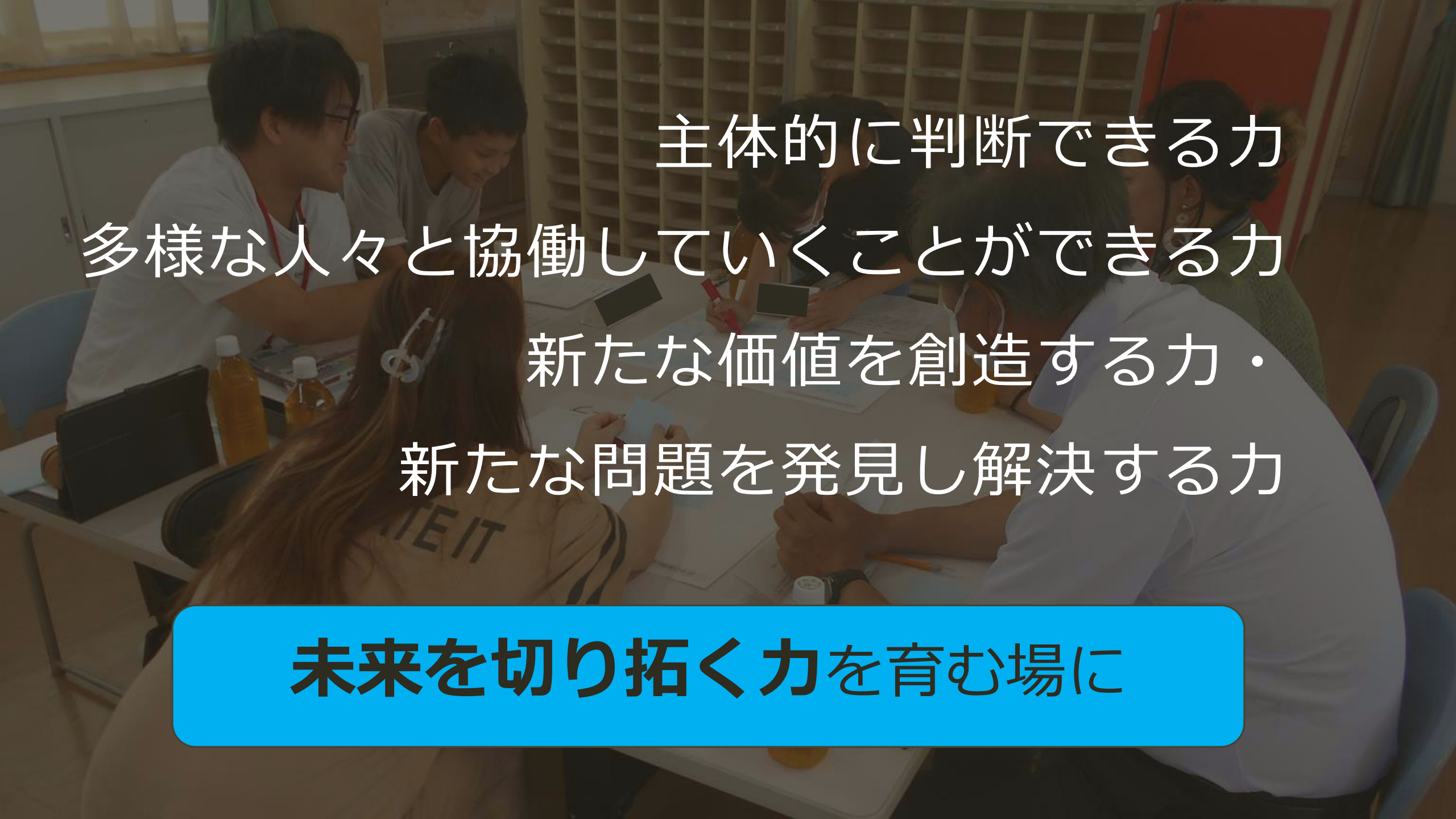
先生方が地域へ出かけていく機会も増えた

小野江小児童の自己肯定感の向上へ

熟議の場を経験することで
「自分たちにできることがたくさんあることに気付く」
「大人と対等な立場で意見交流をする中で、
自分の意見を認めてもらえることで自信につながる」

なかまとの関わりを通して、
自尊感情を高め、主体性を高める

小野江小児童の課題解決に向かう

A group of students are gathered around a table in a classroom, working together on a project. They are looking at papers and using markers. The background shows a typical classroom setting with shelves and a red bookshelf.

主体的に判断できる力
多様な人々と協働していくことができる力
新たな価値を創造する力・
新たな問題を発見し解決する力

未来を切り拓く力を育む場に

熟議に参加した教職員の思い

- ・ 地域の方の思いを直接聞くことができる良い機会
- ・ 子どもたちにとっては、大人の中に入って、
良い意味の緊張感を持つことができた経験

直接地域の方に日頃の思いを伝えられてよかった
教職員では気づけないことをたくさん教えてもらい、
子どもたちに理由とともに、分かりやすく伝えてもらえた

オール小野江で 子どもたちの育成 に取り組む

